



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9699 URL http://www.nishio-rent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社管理部門管掌 兼 社長室長 (氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	78,880	13.9	9,691	7.6	9,437	5.0	5,946	4.6
2018年9月期第2四半期	69,236	7.5	9,002	21.3	8,988	21.5	5,684	23.5

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 6,026百万円 (△2.8%) 2018年9月期第2四半期 6,201百万円 (19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	212.10	211.94
2018年9月期第2四半期	219.89	219.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	206,404	96,573	45.1
2018年9月期	188,224	92,819	47.5

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 93,158百万円 2018年9月期 89,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期 (予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,860	8.2	15,880	7.5	15,500	7.0	9,600	3.0	342.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	28,391,464株	2018年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	354,359株	2018年9月期	358,362株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	28,035,156株	2018年9月期2Q	25,850,025株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年10月1日から2019年3月31日)におけるわが国経済は、米国の通商政策や中国経済の減速等により世界経済の動向に不安があり、企業収益は高水準を維持しながらもやや弱含みで推移しましたが、設備投資には底堅さがありました。

建設業界においては、首都圏の再開発工事やオリンピック関連工事が最盛期を迎えたことに加え、各地で工場・物流倉庫の新築工事が数多く行われる等、建築需要が旺盛だった他、交通インフラの新設・補修工事や災害復旧工事等もあり、堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、国内市場では、ICT施工・i-Constructionの工種拡大への取り組みやインフラメンテナンス分野のネットワークの充実、プラント分野の商品増強、また、イベント分野ではオリンピック・パラリンピックに向けた体制の構築を進めております。その他、海外市場の規模拡大や工事用車両のカーシェアリングをはじめとしたIT技術を活用したビジネスの展開にも引き続き取り組んでおります。

その結果、連結売上高は78,880百万円(前年同四半期比113.9%)、営業利益9,691百万円(同107.6%)、経常利益9,437百万円(同105.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,946百万円(同104.6%)となりました。なお、EBITDAは23,635百万円(同111.4%)と引続き増加となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

〔レンタル関連事業〕

道路・土木関連分野では、i-Constructionにおいて、地元ユーザーへの提案営業に注力した他、ライブ中継による全国一斉開催のi-Constructionセミナーを予定する等、新たに対象となる工種の受注や裾野拡大に取り組みました。また、災害復旧工事では河川やグラウンドでコンパクトトラックローダーが活躍しました。

建築・設備関連分野では、首都圏の大型現場や各地の旺盛な建築需要の対応が高水準で継続した他、プラント新設・定修工事の受注も順調に進み、高所作業機や揚重機を中心に売上が好調でした。また、今後も各地で工場・物流倉庫等の新築工事が控えており、受注活動にも注力しました。

イベント・産業界関連分野では、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックにおいて、練習会場やパブリックビューイング等の施設、オーバーレイ工事の売上獲得を目指しており、仮設テントや観覧席の営業活動にも積極的に取り組みました。

その結果、売上高は76,431百万円(前年同四半期比113.3%)、営業利益9,248百万円(同105.4%)となりました。

〔その他〕

大型土木現場向けのセグメント運搬台車や部品の販売、メンテナンスにより売上を確保した他、グループの連携にも努めました。

その結果、売上高は2,449百万円(前年同四半期比139.8%)、営業利益447百万円(同219.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、206,404百万円と対前連結会計年度末比で109.7%、18,180百万円の増加となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の増加3,836百万円、流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加3,618百万円、貸与資産の増加6,171百万円及び土地の増加1,598百万円であります。

負債合計は、109,831百万円と、対前連結会計年度末比で115.1%、14,426百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加2,387百万円、短期借入金の増加1,323百万円、流動負債・その他に含まれる設備関係未払金の増加4,336百万円、社債の増加1,205百万円及びリース債務の増加4,347百万円であります。

純資産合計は、96,573百万円と、対前連結会計年度末比で104.0%、3,753百万円の増加となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末残高から787百万円増加し、29,479百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とその要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、8,105百万円(前年同四半期比401百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9,425百万円(前年同四半期比490百万円の増加)の他、減価償却費11,474百万円、貸貸資産の取得による支出7,536百万円及び法人税等の支払額3,056百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、3,393百万円(前年同四半期は4,401百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,241百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、3,946百万円(前年同四半期は4,863百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,518百万円に対し、有利子負債の返済による支出6,983百万円が上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月8日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,902	29,693
受取手形及び売掛金	39,660	43,496
商品及び製品	1,420	1,841
仕掛品	1,548	1,636
原材料及び貯蔵品	994	1,134
その他	7,895	11,572
貸倒引当金	△257	△249
流動資産合計	80,165	89,126
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	60,703	66,875
土地	24,208	25,807
その他(純額)	14,380	16,074
有形固定資産合計	99,293	108,757
無形固定資産		
のれん	2,122	1,796
その他	1,159	1,171
無形固定資産合計	3,281	2,968
投資その他の資産		
その他	5,807	5,896
貸倒引当金	△323	△343
投資その他の資産合計	5,483	5,552
固定資産合計	108,058	117,278
資産合計	188,224	206,404
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,400	23,787
短期借入金	2,731	4,055
1年内返済予定の長期借入金	2,901	4,396
1年内償還予定の社債	993	1,049
リース債務	10,574	11,316
未払法人税等	3,020	3,410
賞与引当金	2,235	2,154
役員賞与引当金	147	93
その他	18,280	22,455
流動負債合計	62,285	72,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
固定負債		
社債	437	1,586
長期借入金	7,411	6,670
リース債務	22,907	26,513
役員退職慰労引当金	219	206
退職給付に係る負債	709	735
資産除去債務	751	813
その他	681	584
固定負債合計	33,118	37,110
負債合計	95,404	109,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	9,629	9,571
利益剰余金	72,778	76,762
自己株式	△1,065	△1,053
株主資本合計	89,443	93,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211	173
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	△275	△392
その他の包括利益累計額合計	△64	△222
新株予約権	30	30
非支配株主持分	3,409	3,384
純資産合計	92,819	96,573
負債純資産合計	188,224	206,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	69,236	78,880
売上原価	39,489	45,976
売上総利益	29,746	32,904
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	46	83
給料及び賞与	7,175	8,099
賞与引当金繰入額	2,000	2,077
役員賞与引当金繰入額	87	93
退職給付費用	188	216
役員退職慰労引当金繰入額	13	12
その他	11,231	12,628
販売費及び一般管理費合計	20,743	23,213
営業利益	9,002	9,691
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	3	4
受取保険金	45	88
為替差益	53	—
その他	237	221
営業外収益合計	363	344
営業外費用		
支払利息	330	402
為替差損	—	102
その他	47	92
営業外費用合計	377	598
経常利益	8,988	9,437
特別利益		
固定資産売却益	4	9
特別利益合計	4	9
特別損失		
固定資産除売却損	58	21
特別損失合計	58	21
税金等調整前四半期純利益	8,934	9,425
法人税、住民税及び事業税	3,120	3,471
法人税等調整額	△99	△228
法人税等合計	3,021	3,242
四半期純利益	5,913	6,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	229	236
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,684	5,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	5,913	6,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△38
繰延ヘッジ損益	△40	△2
為替換算調整勘定	354	△115
その他の包括利益合計	288	△156
四半期包括利益	6,201	6,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,926	5,787
非支配株主に係る四半期包括利益	275	238

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,934	9,425
減価償却費	9,685	11,474
のれん償却額	145	259
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57	△80
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27	△54
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23	25
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△12
受取利息及び受取配当金	△26	△34
支払利息	330	402
固定資産除売却損益 (△は益)	53	11
賃貸資産の売却による原価振替高	141	325
賃貸資産の取得による支出	△7,781	△7,536
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,143	△3,859
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,088	△676
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,486	2,396
その他	522	△565
小計	10,273	11,516
利息及び配当金の受取額	30	34
利息の支払額	△329	△389
法人税等の支払額	△2,270	△3,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,703	8,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△213	△213
定期預金の払戻による収入	217	210
短期貸付金の増減額 (△は増加)	150	△28
有形固定資産の取得による支出	△1,717	△3,241
有形固定資産の売却による収入	5	25
無形固定資産の取得による支出	△106	△165
投資有価証券の取得による支出	△6	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△2,681	—
長期貸付けによる支出	△4	△11
長期貸付金の回収による収入	1	19
敷金及び保証金の差入による支出	△88	△32
敷金及び保証金の回収による収入	42	45
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,401	△3,393

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△418	1,380
長期借入れによる収入	5,779	2,518
長期借入金の返済による支出	△1,515	△1,656
社債の発行による収入	693	1,478
社債の償還による支出	△1,319	△294
株式の発行による収入	4,104	—
リース債務の返済による支出	△4,704	△5,014
割賦債務の返済による支出	△17	△17
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	3,788	—
子会社の自己株式の取得による支出	—	△241
配当金の支払額	△1,455	△1,962
非支配株主への配当金の支払額	△72	△136
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,863	△3,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,157	787
現金及び現金同等物の期首残高	21,263	28,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,420	29,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	67,484	1,751	69,236	—	69,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	256	285	△285	—
計	67,512	2,008	69,521	△285	69,236
セグメント利益	8,778	204	8,982	20	9,002

(注)1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額20百万円には、セグメント間取引消去20百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レンタル関連事業」セグメントにおいて、NORTH FORK PTY LTDの株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんが1,784百万円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算出された金額です。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	76,431	2,449	78,880	—	78,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	202	218	△218	—
計	76,447	2,651	79,098	△218	78,880
セグメント利益	9,248	447	9,696	△5	9,691

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去△5百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。